



2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月10日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東  
 コード番号 9903 URL https://www.kanseki.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大田垣 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 村山 和弘 (TEL) 028-659-3112  
 定時株主総会開催予定日 2020年5月21日 配当支払開始予定日 2020年5月22日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	36,304	8.1	1,744	30.7	1,643	38.1	1,015	47.2
2019年2月期	33,579	4.0	1,335	39.1	1,189	53.2	690	65.7

(注) 包括利益 2020年2月期 1,269百万円(69.8%) 2019年2月期 747百万円(61.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	145.39	143.70	13.7	6.2	4.8
2019年2月期	97.69	96.70	10.5	4.6	4.0

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 -百万円 2019年2月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	27,353	8,033	29.1	1,145.85
2019年2月期	25,972	6,908	26.4	979.13

(参考) 自己資本 2020年2月期 7,973百万円 2019年2月期 6,862百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	1,205	△31	△772	1,618
2019年2月期	1,226	438	△1,489	1,217

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	-	5.00	-	5.00	10.00	70	10.2	1.1
2020年2月期	-	5.00	-	7.50	12.50	87	8.6	1.2
2021年2月期(予想)	-	7.50	-	7.50	15.00		10.1	

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,900	6.2	936	10.8	871	11.1	517	5.1	74.37
通期	38,200	5.2	1,770	1.5	1,674	1.9	1,034	1.9	148.71

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響につきましては、算定が極めて困難なことから、本業績予想には織り込んでおりません。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	8,050,000株	2019年2月期	8,050,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期	1,091,335株	2019年2月期	1,040,735株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	6,985,460株	2019年2月期	7,063,919株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績（2019年3月1日～2020年2月29日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	36,286	8.1	1,732	31.2	1,631	38.8	1,007	48.1
2019年2月期	33,561	4.0	1,320	39.7	1,175	54.0	680	67.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年2月期	144.26		142.58					
2019年2月期	96.30		95.32					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	27,259	7,972	29.0	1,137.09
2019年2月期	25,865	6,856	26.3	971.68

(参考) 自己資本 2020年2月期 7,912百万円 2019年2月期 6,810百万円

2. 2021年2月期の個別業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,891	6.2	930	11.0	865	11.3	513	5.2	73.72
通期	38,182	5.2	1,756	1.4	1,660	1.8	1,025	1.8	147.40

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響につきましては、算定が極めて困難なことから、本業績予想には織り込んでおりません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(表示方法の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	18
4. 個別財務諸表 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	23
(3) 株主資本等変動計算書 .....	24
5. その他 .....	26
(1) 販売及び仕入の状況 .....	26
(2) 役員の異動 .....	27

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年3月1日から2020年2月29日まで)における我が国経済は、主要国間の経済摩擦や政情不安が長引く中で、消費税増税や異常気象(冷夏・暖冬)、自然災害等の経済的マイナス要因が多数発生したにも拘らず、底堅い成長を続けておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大は、国内外の経済活動を一変させつつあり、各市場での株価下落や為替相場の乱高下など、短期的な見通しも困難な厳しい経済環境となっております。この様な情勢の中、当グループは地域のおお客様の「生活の快適創造」に繋げる体制づくりを推進してまいりました。

ホームセンター事業では、長梅雨や暖冬等による季節商品の販売が振るわなかった一方で、秋季の自然災害関連での防災・修繕復興資材、年明けの新型コロナウイルス感染対策としての殺菌消毒用品・マスク等に集中して購買が起きるなど、需要と供給がアンバランスな商環境が続きました。WILD-1事業では、アウトドア志向の高まりも更に進んだことから、期初に開店したWILD-1幕張店(千葉県習志野市)を始め、既存19店舗・オンライン販売共に大幅に業績を拡大させました。専門店事業においても、業務スーパー店舗及びオフハウス店舗を中心に安定した業績を残しております。特に業務スーパー店舗では、TV等のマスメディアでの紹介増加によって更に認知度が高まったことや、業務スーパー黒磯店(栃木県那須塩原市)の新規出店効果により、新規来店客の増加や業績の向上に繋がりました。

設備面では、上記2店の新規出店及び既存店の改装を進めた他、効率改善が難しかったホームセンターわし宮店(埼玉県久喜市)の退店を行いました。また、「改元」や「複数消費税率」、社内インフラの「Windows10対応」等のシステム投資を行った結果、経費の増加要因が発生しましたが、販売促進費の効率化や電力会社の契約見直しによる光熱費の削減等で、販売管理費の増加を抑制致しました。

これらの結果、売上高は363億4百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は17億44百万円(前年同期比30.7%増)、経常利益は16億43百万円(前年同期比38.1%増)、特別損失に減損損失1億23百万円を計上いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益は10億15百万円(前年同期比47.2%増)となり、増収増益になりました。

なお、当社グループの報告セグメント事業別経営成績は次のとおりです。

#### [ホームセンター事業]

ホームセンター事業では、業態の垣根を越えた競合が拡大し、商環境の厳しさは一層高まっております。

当連結会計年度は気候の変動にも翻弄されました。長梅雨の冷夏明け後の猛暑や東日本エリアへの大型台風到来の他、集中豪雨による洪水災害も相次いで発生し、季節品の動きが厳しい中で、防災・修繕用品の需要が高まりました。同様に冬季でも暖冬傾向が続き、防寒・暖房用品・灯油等の動きが鈍い状況でしたが、期末に新型コロナウイルスの感染防止対策としての殺菌・除菌剤やマスクの需要が一気に高まる等、特定商品群の大きな伸長が、季節商品の不振をカバーし、売上高は前年を超えました。

設備面では、黒磯店・小川店の改装や市貝店での灯油販売所設置等、地域需要への対応を図りました。

また、2019年10月の消費税率変更及び軽減税率対応、及び2020年4月からの改正割賦販売法(クレジットカード情報非保持化)に適應するため、POSシステムの全面的な更新とクレジット・電子マネー利用環境整備を行いました。

これらの結果、ホームセンター事業の営業収益は、177億13百万円(前年同期比0.1%増)、わし宮店(埼玉県久喜市)の退店費用も発生したことからセグメント利益は、4億25百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

## [WILD-1事業]

WILD-1事業では、当連結会計年度を通じて、主力のキャンプ関連用品の他、全ての 카테고리において安定した業績を上げております。暖冬であったこともあり、「冬キャンプ」や「焚火キャンプ」は前年同期を大きく上回る需要を見せております。キャンプレジャーは各方面でメディアでの露出も増えており、動画配信やSNSを利用した「非日常体験の発信と共有」等により、多様化したスタイルの中で個性ある商品が求められる傾向が続いております。ネットショップのオンライン販売においても、プライベート・ブランドを中心に活況を呈し、連続してグッドデザイン賞を取得している商品やその関連商品は、品質と価格のバランスが認められ、今般の需要に応じてユーザーの拡大に繋がり、業績に貢献しております。また、2019年3月に20店舗目として新規出店致しました幕張店(千葉県習志野市)は開店当初より、想定を上回る水準の業績を上げております。

店舗運営面では、当連結会計年度より繁忙期を除く毎月1回、店舗スタッフのアウトドア技術・体験研修等を行う為の店休日を設けましたが、業績への影響は出ておりません。

設備面では、幕張店を新規出店した他、多摩ニュータウン店や高崎店等5店舗の全面改装を行い、一部経費の増加要因が発生しましたが、販売促進費の効率化を進め、経費増加を抑制致しました。

これらの結果、営業収益は110億32百万円(前年同期比17.2%増)、セグメント利益は、14億13百万円(前年同期比33.2%増)となりました。

## [専門店事業]

専門店事業の内、業務スーパーは気象・天候の影響を受けにくい特徴がある為、安定して成長を続けております。当連結会計年度中も頻りにTV等のマスメディアで価格と品揃えの魅力が紹介された事で、継続して新規利用客が増加しました。また、消費増税防衛策としての活用、及び新型コロナウイルス感染防止策による家庭での食事増加や、長期保存可能食品の備蓄も行われた事で、需要が大きく喚起され、業績の大幅伸長に繋がりました。更に、クレジットカード利用によるキャッシュレス化が一層進んだ事も、利便性向上と利用客単価の上昇結果を生んでおります。

同様に、2019年7月に新規出店致しました業務スーパー黒磯店(栃木県那須塩原市)も好調に推移しました。

オフハウス店舗では、同業他社や個人同士でのネット取引が増加傾向にあり、リユース業界の商環境は厳しさを増しておりますが、大型家具・家電商品等の持込みや持ち帰りの運搬用車両貸し出し等、利便性の向上に努めた他、各店での細かな販促企画や積極買取り策により安定した収益を上げております。

これらの結果、営業収益は79億35百万円(前年同期比16.2%増)、セグメント利益は、6億34百万円(前年同期比28.5%増)となりました。

## [店舗開発事業]

店舗開発事業では、一部賃貸物件の売却を進めたこともあり、賃貸収入は減少致しましたが、相対する支払賃料も減少し、業績は計画通りに推移しております。

これらの結果、営業収益は3億79百万円(前年同期比16.9%減)、セグメント利益は1億65百万円(前年同期比10.2%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産は前連結会計年度末に比べ12億79百万円増加し84億66百万円（前年同期比17.8%増）となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加3億41百万円、売掛金の増加1億67百万円及び商品在庫の増加7億60百万円の増加要因によるものであります。

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ97百万円増加し188億83百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

有形固定資産は、新規設備投資により増加しましたが、土地の売却、資産の除却、減損損失の計上及び減価償却により2億79百万円減少し152億58百万円となりました。

無形固定資産は、資産取得により31百万円増加し6億7百万円となりました。

投資その他の資産は、市場価格の上昇により投資有価証券が3億50百万円増加したことから3億46百万円増加し30億17百万円となりました。

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億35百万円減少し109億35百万円（前年同期比4.7%減）となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の増加2億38百万円、電子記録債務の増加1億58百万円及び未払法人税等の増加67百万円の増加要因に対し、短期借入金の減少10億93百万円及び1年内返済予定の長期借入金の減少45百万円の減少要因によるものであります。

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ7億92百万円増加し83億84百万円（前年同期比10.4%増）となりました。主な要因といたしましては、社債の発行5億円、長期借入金の増加2億5百万円及びリース債務の増加1億44百万円の増加要因によるものであります。

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ11億24百万円増加し80億33百万円（前年同期比16.3%増）、自己資本比率は29.1%となり、前連結会計年度末に比べ2.7%増加いたしました。主な要因は、配当金の支払69百万円の減少要因に対し、親会社株主に帰属する当期純利益10億15百万円の増加要因によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加して、16億18百万円（前年同期比33.0%増）となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ21百万円減少して、12億5百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額7億58百万円、売上債務の増加額1億67百万円及び法人税等の支払額5億51百万円により資金を使用しましたが、税金等調整前当期純利益15億32百万円、減価償却費4億99百万円、減損損失1億23百万円及び仕入債務の増加額3億97百万円により資金が得られたことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ4億69百万円増加して、31百万円（前年同期は4億38百万円の収入）となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入5億71百万円、敷金及び保証金の回収による収入1億37百万円等により資金が得られましたが、有形固定資産の取得による支出5億1百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億33百万円及び預り保証金の返還による支出83百万円により使用したことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ7億16百万円減少して、7億72百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入39億50百万円により資金が得られましたが、短期借入金の純減少額10億93百万円、長期借入金の返済による支出37億89百万円、リース債務の返済による支出1億73百万円、自己株式の取得による支出89百万円及び配当金の支払額70百万円により使用したことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大が、国内外の経済活動を一変させつつあり、各市場での株価下落や為替相場の乱高下など、短期的な見通しも困難な厳しい経済環境となっております。このような情勢の下、当社グループは地域のお客様の「生活の快適創造」に繋げる体制づくりを推進してまいります。

次期の当社グループの売上高は382億円（当連結会計年度比5.2%増）、営業利益は17億70百万円（当連結会計年度比1.5%増）、経常利益は16億74百万円（当連結会計年度比1.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億34百万円（当連結会計年度比1.9%増）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により連結財務諸表を作成しております。将来の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,279,273	1,620,632
売掛金	309,689	476,696
商品	5,318,751	6,078,762
貯蔵品	19,512	17,719
その他	259,901	272,645
貸倒引当金	△121	△96
流動資産合計	7,187,007	8,466,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,466,869	13,475,235
減価償却累計額	△10,018,213	△9,974,883
建物及び構築物(純額)	3,448,655	3,500,351
機械装置及び運搬具	5,529	5,529
減価償却累計額	△5,529	△5,529
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	618,499	669,120
減価償却累計額	△538,124	△553,896
工具、器具及び備品(純額)	80,375	115,224
土地	11,596,901	11,067,882
リース資産	577,055	804,819
減価償却累計額	△289,416	△389,372
リース資産(純額)	287,639	415,447
建設仮勘定	124,451	159,386
有形固定資産合計	15,538,023	15,258,291
無形固定資産		
投資その他の資産	576,658	607,737
投資有価証券	878,883	1,229,512
長期貸付金	427	307
繰延税金資産	134,252	123,555
敷金及び保証金	1,620,413	1,614,130
その他	36,723	49,568
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,670,700	3,017,073
固定資産合計	18,785,381	18,883,102
繰延資産		
社債発行費	—	4,417
繰延資産合計	—	4,417
資産合計	25,972,388	27,353,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,624,145	2,862,824
電子記録債務	786,303	944,729
短期借入金	3,264,400	2,170,837
1年内返済予定の長期借入金	3,384,632	3,339,588
リース債務	130,208	185,950
未払法人税等	369,148	437,014
ポイント引当金	277,966	291,711
その他	634,391	702,912
流動負債合計	11,471,195	10,935,567
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	6,408,848	6,614,244
リース債務	224,973	369,459
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
退職給付に係る負債	603,276	601,393
資産除去債務	143,059	154,481
長期預り敷金保証金	179,401	116,831
長期末払金	4,320	—
固定負債合計	7,592,218	8,384,749
負債合計	19,063,413	19,320,317
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	3,231,101	4,176,757
自己株式	△576,900	△666,095
株主資本合計	6,444,201	7,300,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	419,272	672,569
退職給付に係る調整累計額	△507	352
その他の包括利益累計額合計	418,765	672,922
新株予約権	46,008	59,978
純資産合計	6,908,974	8,033,563
負債純資産合計	25,972,388	27,353,880

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	33,579,800	36,304,889
売上原価	23,936,579	25,896,642
売上総利益	9,643,221	10,408,246
営業収入	842,710	780,569
営業総利益	10,485,932	11,188,816
販売費及び一般管理費	9,150,658	9,444,132
営業利益	1,335,273	1,744,683
営業外収益		
受取利息	619	474
受取配当金	16,123	17,873
補助金収入	32,973	38,469
受取保険金	8,238	4,497
その他	7,575	12,029
営業外収益合計	65,530	73,344
営業外費用		
支払利息	202,740	167,771
支払手数料	—	943
その他	8,192	6,166
営業外費用合計	210,933	174,881
経常利益	1,189,871	1,643,146
特別利益		
固定資産売却益	71,857	33,232
収用補償金	—	17,846
特別利益合計	71,857	51,078
特別損失		
固定資産売却損	—	5,313
固定資産除却損	28,505	17,300
減損損失	44,720	123,316
投資有価証券評価損	—	13,005
賃貸借契約解約損	45,000	—
災害による損失	—	2,734
特別損失合計	118,225	161,671
税金等調整前当期純利益	1,143,502	1,532,553
法人税、住民税及び事業税	459,279	614,900
法人税等調整額	△5,872	△97,976
法人税等合計	453,406	516,923
当期純利益	690,096	1,015,629
親会社株主に帰属する当期純利益	690,096	1,015,629

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	690,096	1,015,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,132	253,297
退職給付に係る調整額	458	859
その他の包括利益合計	57,590	254,157
包括利益	747,687	1,269,787
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	747,687	1,269,787

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,926,000	1,864,000	2,604,666	△482,425	5,912,241
当期変動額					
剰余金の配当			△63,662		△63,662
親会社株主に帰属する 当期純利益			690,096		690,096
自己株式の取得				△94,474	△94,474
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	626,434	△94,474	531,959
当期末残高	1,926,000	1,864,000	3,231,101	△576,900	6,444,201

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	362,139	△965	361,174	32,041	6,305,457
当期変動額					
剰余金の配当					△63,662
親会社株主に帰属する 当期純利益					690,096
自己株式の取得					△94,474
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	57,132	458	57,590	13,966	71,557
当期変動額合計	57,132	458	57,590	13,966	603,517
当期末残高	419,272	△507	418,765	46,008	6,908,974

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,926,000	1,864,000	3,231,101	△576,900	6,444,201
当期変動額					
剰余金の配当			△69,973		△69,973
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,015,629		1,015,629
自己株式の取得				△89,195	△89,195
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	945,656	△89,195	856,461
当期末残高	1,926,000	1,864,000	4,176,757	△666,095	7,300,662

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	419,272	△507	418,765	46,008	6,908,974
当期変動額					
剰余金の配当					△69,973
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,015,629
自己株式の取得					△89,195
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	253,297	859	254,157	13,970	268,127
当期変動額合計	253,297	859	254,157	13,970	1,124,588
当期末残高	672,569	352	672,922	59,978	8,033,563

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,143,502	1,532,553
減価償却費	446,666	499,806
減損損失	44,720	123,316
賃貸借契約解約損益(△は益)	45,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87	△25
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15,663	13,745
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,753	△646
受取利息及び受取配当金	△16,742	△18,348
支払利息	202,740	167,771
固定資産売却損益(△は益)	△71,857	△27,918
固定資産除却損	28,505	17,300
補助金収入	△32,973	△38,469
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13,005
売上債権の増減額(△は増加)	△46,534	△167,007
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,022	△758,156
仕入債務の増減額(△は減少)	194,623	397,105
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,726	19,066
長期未払金の増減額(△は減少)	△71,640	△4,320
その他の流動負債の増減額(△は減少)	840	57,661
その他	5,368	33,996
小計	1,685,799	1,860,439
利息及び配当金の受取額	16,742	18,348
利息の支払額	△199,978	△163,592
法人税等の支払額	△305,871	△551,125
補助金の受取額	30,110	41,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,226,802	1,205,373
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	511	60,000
有形固定資産の取得による支出	△314,435	△501,636
有形固定資産の売却による収入	762,215	571,984
無形固定資産の取得による支出	△7,099	△63,123
投資有価証券の取得による支出	△1,747	△2,038
長期貸付金の回収による収入	629	203
敷金及び保証金の差入による支出	△37,961	△133,574
敷金及び保証金の回収による収入	72,399	137,618
預り保証金の返還による支出	△42,982	△83,270
預り保証金の受入による収入	7,200	700
その他	△629	△18,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	438,100	△31,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△534,301	△1,093,563
長期借入れによる収入	3,600,000	3,950,000
長期借入金の返済による支出	△4,261,873	△3,789,648
社債の発行による収入	—	494,110
リース債務の返済による支出	△134,524	△173,763
自己株式の取得による支出	△94,474	△89,195
配当金の支払額	△63,916	△70,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,489,089	△772,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	422	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	176,235	401,358
現金及び現金同等物の期首残高	1,041,038	1,217,273
現金及び現金同等物の期末残高	1,217,273	1,618,632

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」131,788千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」123,555千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業については、グループの各事業会社を取り扱う商品・サービスについての事業展開・戦略を立案し、事業活動を行っております。

従って、当社は事業本部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており「ホームセンター事業」、「WILD-1事業」、「専門店事業」及び「店舗開発事業」を報告セグメントとしております。

「ホームセンター事業」は、ホームセンターの経営をしております。「WILD-1事業」はアウトドアライフ用品の専門店を経営しております。「専門店事業」は、主にフランチャイズ契約によるリユース商品販売のオフハウス及び業務用食品等の販売の業務スーパー並びに飲食店の経営をしております。「店舗開発事業」は、不動産賃貸管理及びアミューズメント施設の経営をしております。

#### 2 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準を除き、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格や仕入原価に基づいております。

3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	17,693,314	9,416,559	6,831,130	457,289	34,398,292	24,218	34,422,511	—	34,422,511
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	13,068	13,068	58,600	71,668	△71,668	—
計	17,693,314	9,416,559	6,831,130	470,357	34,411,360	82,818	34,494,179	△71,668	34,422,511
セグメント利益	438,662	1,061,246	493,710	184,757	2,178,376	21,498	2,199,874	△864,601	1,335,273
セグメント資産	12,623,221	3,745,257	1,381,258	3,255,071	21,004,808	189,378	21,194,187	4,778,201	25,972,388
その他の項目									
減価償却費	168,908	110,655	49,205	27,154	355,925	10,614	366,540	80,126	446,666
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	101,501	254,252	49,146	7,153	412,053	—	412,053	46,480	458,533

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△864,601千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△864,601千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額4,778,201千円は、全社の項目に含めた全社資産であり、主に親会社での長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額46,480千円は、本社の設備投資額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	17,713,703	11,032,240	7,935,085	379,993	37,061,022	24,435	37,085,458	—	37,085,458
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	13,068	13,068	57,600	70,668	△70,668	—
計	17,713,703	11,032,240	7,935,085	393,061	37,074,090	82,035	37,156,126	△70,668	37,085,458
セグメント利益	425,274	1,413,187	634,593	165,986	2,639,042	19,440	2,658,483	△913,799	1,744,683
セグメント資産	12,818,630	4,595,110	1,471,513	673,669	19,558,924	177,489	19,736,414	7,617,466	27,353,880
その他の項目									
減価償却費	185,304	135,657	60,391	22,574	403,928	10,492	414,420	85,386	499,806
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	382,071	309,805	126,374	18,733	836,985	—	836,985	94,200	931,186

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△913,799千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△913,799千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額7,617,466千円は、全社の項目に含めた全社資産であり、主に親会社での長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額94,200千円は、本社の設備投資額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先が無いため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先が無いため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
減損損失	24,178	—	20,542	—	44,720	—	44,720	—	44,720

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
減損損失	114,425	—	8,890	—	123,316	—	123,316	—	123,316

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	979円13銭	1,145円85銭
1株当たり当期純利益	97円69銭	145円39銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	96円70銭	143円70銭

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	6,908,974	8,033,563
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	46,008	59,978
(うち新株予約権(千円))	(46,008)	(59,978)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,862,966	7,973,584
普通株式の発行済株式数(株)	8,050,000	8,050,000
普通株式の自己株式数(株)	1,040,735	1,091,335
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	7,009,265	6,958,665

2 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり当期純利益		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	690,096	1,015,629
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	690,096	1,015,629
普通株式の期中平均株式数(株)	7,063,919	6,985,460
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))	(—)	(—)
普通株式増加数	72,216	82,239
(うち新株予約権(株))	(72,216)	(82,239)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(自己株式の取得について)

当社は、2020年4月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行なう理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の実施並びに株主への一層の利益還元を目的として、自己株式を取得するものであります。

2. 取得する株式の種類：普通株式

3. 取得する株式の数：60,000株（上限）

4. 株式取得価額の総額：1億円（上限）

5. 自己株式取得の期間：2020年4月13日～2021年2月28日

6. 取得方法：東京証券取引所における市場買付

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,209,693	1,552,565
売掛金	309,689	476,696
商品	5,318,751	6,078,762
貯蔵品	19,512	17,719
前渡金	9,106	15,726
前払費用	183,900	184,506
1年内回収予定の差入保証金	32,011	34,188
その他	38,789	42,109
貸倒引当金	△121	△96
流動資産合計	7,121,332	8,402,178
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,022,661	3,096,743
構築物	322,699	310,805
機械及び装置(純額)	0	0
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品(純額)	80,375	115,224
土地	11,594,518	11,065,499
リース資産	287,639	415,447
建設仮勘定	124,451	159,386
有形固定資産合計	15,432,345	15,163,105
無形固定資産		
借地権	412,171	411,350
商標権	4,724	6,302
ソフトウェア	111,401	118,245
リース資産	26,703	50,327
その他	21,656	21,510
無形固定資産合計	576,658	607,737
投資その他の資産		
投資有価証券	878,883	1,229,512
関係会社株式	50,000	50,000
長期前払費用	3,555	14,004
繰延税金資産	134,030	123,709
敷金及び保証金	1,635,413	1,629,130
その他	33,496	35,771
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,735,378	3,082,128
固定資産合計	18,744,381	18,852,971

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
繰延資産		
社債発行費	—	4,417
繰延資産合計	—	4,417
資産合計	25,865,713	27,259,567

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	295,922	406,042
買掛金	2,328,223	2,456,782
電子記録債務	786,303	944,729
短期借入金	3,264,400	2,170,837
1年内返済予定の長期借入金	3,364,592	3,319,548
リース債務	130,208	185,950
未払金	87,264	18,654
未払費用	306,402	404,610
未払法人税等	366,537	434,755
未払消費税等	121,537	140,168
前受金	33,957	26,703
預り金	18,929	20,121
ポイント引当金	277,966	291,711
資産除去債務	—	7,730
その他	63,221	81,361
流動負債合計	11,445,465	10,909,706
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	6,365,658	6,591,094
リース債務	224,973	369,459
退職給付引当金	602,546	601,900
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	143,059	154,481
長期預り敷金保証金	194,551	131,981
長期末払金	4,320	—
固定負債合計	7,563,449	8,377,256
負債合計	19,008,914	19,286,962

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金		
資本準備金	1,864,000	1,864,000
資本剰余金合計	1,864,000	1,864,000
利益剰余金		
利益準備金	199,240	199,240
その他利益剰余金		
別途積立金	300,000	300,000
繰越利益剰余金	2,679,178	3,616,911
利益剰余金合計	3,178,418	4,116,151
自己株式	△576,900	△666,095
株主資本合計	6,391,518	7,240,055
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	419,272	672,569
評価・換算差額等合計	419,272	672,569
新株予約権	46,008	59,978
純資産合計	6,856,799	7,972,604
負債純資産合計	25,865,713	27,259,567

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	33,561,437	36,286,890
売上原価	23,936,579	25,896,642
売上総利益	9,624,858	10,390,247
営業収入	856,433	794,292
営業総利益	10,481,292	11,184,540
販売費及び一般管理費	9,161,006	9,452,205
営業利益	1,320,286	1,732,334
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,741	18,346
補助金収入	32,973	38,469
受取保険金	8,238	4,497
その他	7,519	11,972
営業外収益合計	65,472	73,285
営業外費用		
支払利息	202,374	167,506
支払手数料	—	943
その他	8,192	6,166
営業外費用合計	210,566	174,616
経常利益	1,175,192	1,631,004
特別利益		
固定資産売却益	71,857	33,232
収用補償金	—	17,846
特別利益合計	71,857	51,078
特別損失		
固定資産売却損	—	5,313
固定資産除却損	28,276	17,300
減損損失	44,720	123,316
投資有価証券評価損	—	13,005
賃貸借契約解約損	45,000	—
災害による損失	—	2,734
特別損失合計	117,996	161,671
税引前当期純利益	1,129,052	1,520,411
法人税、住民税及び事業税	454,688	610,682
法人税等調整額	△5,872	△97,976
法人税等合計	448,815	512,706
当期純利益	680,237	1,007,705

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,926,000	1,864,000	1,864,000	199,240	300,000	2,062,603	2,561,843
当期変動額							
剰余金の配当						△63,662	△63,662
当期純利益						680,237	680,237
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	616,575	616,575
当期末残高	1,926,000	1,864,000	1,864,000	199,240	300,000	2,679,178	3,178,418

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△482,425	5,869,418	362,139	362,139	32,041	6,263,599
当期変動額						
剰余金の配当		△63,662				△63,662
当期純利益		680,237				680,237
自己株式の取得	△94,474	△94,474				△94,474
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			57,132	57,132	13,966	71,099
当期変動額合計	△94,474	522,100	57,132	57,132	13,966	593,199
当期末残高	△576,900	6,391,518	419,272	419,272	46,008	6,856,799

当事業年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,926,000	1,864,000	1,864,000	199,240	300,000	2,679,178	3,178,418
当期変動額							
剰余金の配当						△69,973	△69,973
当期純利益						1,007,705	1,007,705
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	937,732	937,732
当期末残高	1,926,000	1,864,000	1,864,000	199,240	300,000	3,616,911	4,116,151

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△576,900	6,391,518	419,272	419,272	46,008	6,856,799
当期変動額						
剰余金の配当		△69,973				△69,973
当期純利益		1,007,705				1,007,705
自己株式の取得	△89,195	△89,195				△89,195
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			253,297	253,297	13,970	267,267
当期変動額合計	△89,195	848,537	253,297	253,297	13,970	1,115,804
当期末残高	△666,095	7,240,055	672,569	672,569	59,978	7,972,604

## 5. その他

## (1) 販売及び仕入の状況

## ①販売状況

項 目	前事業年度 自 2018年3月1日 至 2019年2月28日		当事業年度 自 2019年3月1日 至 2020年2月29日		比較増 (△は減)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
ホームセンター					
DIY用品	8,441,583	25.1	8,434,479	23.2	△7,103
家庭用品	4,078,866	12.2	4,129,298	11.4	50,432
カー・レジャー用品	4,865,811	14.5	4,850,064	13.4	△15,746
計	17,386,261	51.8	17,413,842	48.0	27,581
WILD-1	9,351,924	27.9	10,946,112	30.2	1,594,188
食品販売	5,527,851	16.4	6,624,219	18.3	1,096,367
リユース	1,132,605	3.4	1,137,724	3.1	5,119
飲食	162,796	0.5	164,991	0.4	2,195
合計	33,561,437	100.0	36,286,890	100.0	2,725,452

## ②仕入状況

項 目	前事業年度 自 2018年3月1日 至 2019年2月28日		当事業年度 自 2019年3月1日 至 2020年2月29日		比較増 (△は減)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
ホームセンター					
DIY用品	6,384,633	26.4	6,495,467	24.4	110,834
家庭用品	3,024,475	12.5	3,120,299	11.7	95,824
カー・レジャー用品	3,531,987	14.6	3,587,402	13.5	55,415
計	12,941,096	53.5	13,203,170	49.6	262,073
WILD-1	6,300,405	26.1	7,700,570	28.9	1,400,164
食品販売	4,368,228	18.1	5,232,095	19.6	863,866
リユース	475,369	2.0	458,912	1.7	△16,457
飲食	60,811	0.3	61,905	0.2	1,094
合計	24,145,911	100.0	26,656,653	100.0	2,510,741

(注) 1 商品区分の内訳は、次のとおりであります。

- (1) DIY用品……………(素材、金物、エクステリア、植物、園芸用品、住設機器 等)
- (2) 家庭用品……………(日用品、家庭用品、インテリア、菓子食品 等)
- (3) カー・レジャー用品……………(カー用品、ペット用品、文具、スポーツレジャー用品、自転車 等)
- (4) WILD-1……………(アウトドア用品)
- (5) 食品販売……………(業務用食材等)
- (6) リユース……………(リユース商品)
- (7) 飲食……………(飲食店)

- 2 販売・仕入数量については、取扱商品が多種多様で表示が困難なため、記載を省略しております。
- 3 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
- 4 上記の金額には、消費税等を含んでおりません。

(2) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2020年5月21日付予定)

1. 新任取締役候補

取締役(常勤監査等委員) 高崎 勝彦 (現 管理本部副部長 広報・IR担当)

2. 退任予定取締役

取締役(常勤監査等委員) 池田 竜二

社外取締役(監査等委員) 芳村 武夫